

令和4年度 小・中学校人権教育研修D（子ども・障がい者の人権）＜aコース＞ 実施要項

1 目的 貧困や虐待等、厳しい養育環境にある子どもの現状を理解し、児童生徒一人ひとりの人権が尊重された教育について認識を深める。併せて、「子どもの貧困」等における社会的排除に関わる課題解決に向けて、学校に求められる役割や取組みについて考える。

2 対象 小・中学校、義務教育学校の教職員 各市町村1名以上

3 内容等

回	日時	内容	講師等
1	リアルタイム開催 9月6日(火) 14:00～17:00	実践発表 厳しい養育環境にある子どもの現状及び子どもの人権について 子どもの人権を守るための取組みについて 〔実践発表・講演・協議〕	府内小・中学校教職員 社会学者(博士) 神原 文子 大阪府教育センター 指導主事等

4 会場 所属校等

5 担当室 人権教育研究室

6 その他 (1) 受付は30分前から。
(2) 事前に準備しておく事項があるので、シラバスを必ず確認すること。
(3) Web開催(オンデマンド開催、リアルタイム開催)の場合、研修対応ポータルサイトの実施マニュアルを参照すること。

令和4年度 小・中学校人権教育研修D（子ども・障がい者の人権）
 <aコース> シラバス

2063

1 目的

貧困や虐待等、厳しい養育環境にある子どもの現状を理解し、児童生徒一人ひとりの人権が尊重された教育について認識を深める。併せて、「子どもの貧困」等における社会的排除に関わる課題解決に向けて、学校に求められる役割や取組みについて考える。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標														
	I			II			III			IV			V		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第4期															
第3期															
第2期	○								○				○		○
第1期															
第0期															

3 研修課題とねらい等

回	研修課題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	子どもの人権について	様々な家庭環境にある子どもの現状及び子どもの人権について認識を深める。	講演を通して、厳しい養育環境にある子どもの現状及び子どもの人権（育つ権利と守られる権利）について学ぶ。	事前課題 人権教育リーフレット「子どもの貧困①（改訂版）」「子どもの貧困②」を読んでもおく。 ⇒ ダウンロード
	子どもの人権が尊重された学校づくり	子どもの人権が尊重された学校であるために、求められる役割や取組みについて考える。	・講演及び実践発表を通して、一人ひとりの子どもが安心していきいきと過ごせる学校づくりについて、自校の取組みを振り返り、今後について考える。 ・班別協議を通して、子どもの人権を守るためにどのように取組みを進めていくのかについて考える。	